

光を必要としない、
次世代型の抗菌・抗ウイルス・
消臭コート剤



Redox
レドックス

レドックス

抗菌・抗ウイルス・消臭コート



SIAA
抗菌加工
JP0113062A0001P

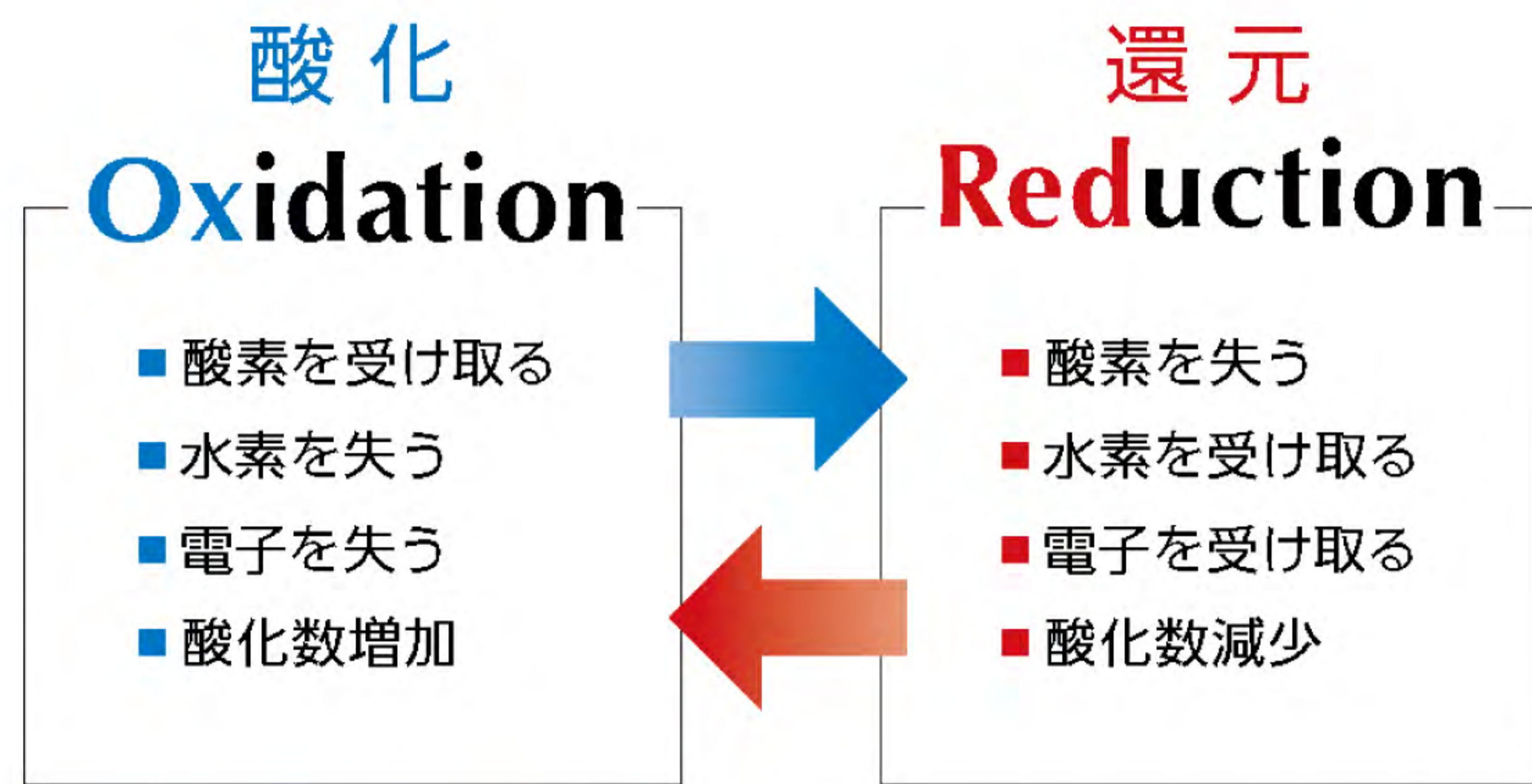


SIAA
抗ウイルス加工
JP0613062X0001A



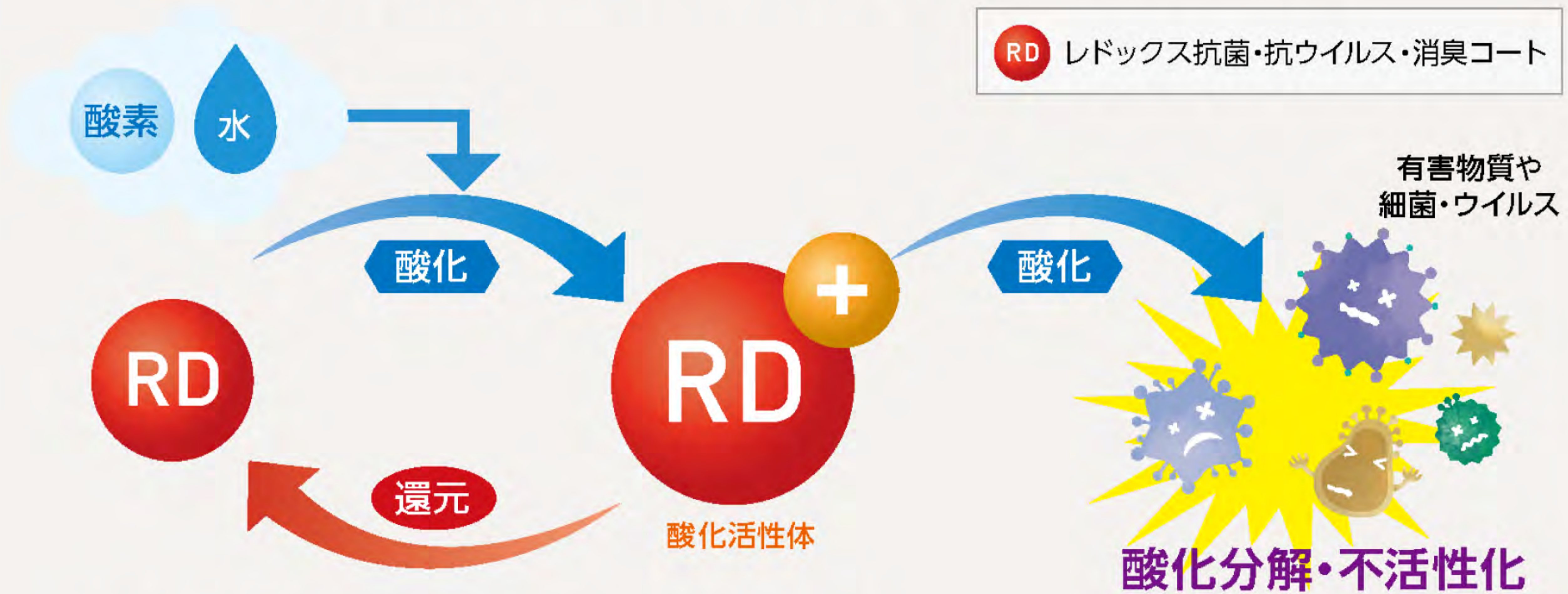
なぜ「REDOX?」??

REDOX(レドックス)とはREDuction(還元)+OXidation(酸化)の略で、酸化還元反応を意味します。レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コートは、この酸化還元反応を応用した製品にちなんで名付けられました。



酸化 と 還元 は同時に生じる表裏の関係!

レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コートのメカニズム



このサイクル反応により長く効果が持続します。



光がなくても、 抗菌・抗ウイルス・消臭

快適な日常生活に支障をきたし、さまざまなことに悪影響をもたらす恐れのある菌やウイルス、そして化学物質。たとえば悪臭は、さまざまな菌によって発生するもの。また、「外出先から家に入ると頭痛がする」、「ある部屋に入ると目がチカチカする」といったシックハウス症候群は、室内の空気が、ホルムアルデヒドなどの化学物質に汚染されることが原因で生じます。

ミヤキは、長年の経験を生かし、菌や化学物質の分解によって悪臭やシックハウス症候群の発生を軽減することを目的に、商品開発を進めてまいりました。

「レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コート」は、高い消臭性と抗菌性・抗ウイルス性はもちろん、赤ちゃんからお年寄り、ペットのいる環境でもご使用いただける安全性と、長期間効果が持続する優れたコストパフォーマンスを実現。

空間に、さらなる快適と安心をお届けします。



高い性能と安全性で、



抗菌・抗ウイルス

高い抗菌性・抗ウイルス性で、
有害な細菌の活性化を大幅に抑制！

基準値2.0以上の抗菌活性値が**4.0以上**！
黄色ブドウ球菌種や大腸菌など細菌の増殖
を大幅に抑制します。

抗菌・抗ウイルス効果 **99.99%以上!**

抗菌性試験

試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構



耐水性区分	1	
耐光性区分	1	
試験結果		
耐水性	大腸菌 抗菌活性値	4.8
	黄色ブドウ球菌 抗菌活性値	4.5
耐光性	大腸菌 抗菌活性値	4
	黄色ブドウ球菌 抗菌活性値	4.5

抗ウイルス性試験

試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構



耐水性区分	0	
耐光性区分	1	
試験結果		
耐水性	ネコカリシウイルス 抗ウイルス活性値	3.3
	インフルエンザウイルス 抗ウイルス活性値	4.4
耐光性	ネコカリシウイルス 抗ウイルス活性値	4.4
	インフルエンザウイルス 抗ウイルス活性値	4.0



安全

レドックスの成分は
すべて食品添加物で構成！

レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コートは**すべて食品添加物で構成**されているため、お子様やペットがいるご家庭、病院、介護施設などでも安全にご使用いただけます。

- 急性経口毒性: LD50 > 2,000mg/kg
- 皮膚への刺激性: 弱い刺激性程度
P.I.I.(一次刺激性指数): 2.00 未満
P.I.I.(一次刺激性指数)=0.00
- 変異原性: 突然変異誘起性は陰性
- 皮膚感作性: 陰性



持続

空気中の「酸素・水」により酸化
繰り返すことで長期間効果が持

レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コート中の成分である鉄イオン及びその他の金属イオンが、空気中の『酸素・水』と反応し、強い酸化還元反応の作用により、有害物質が分解されます。

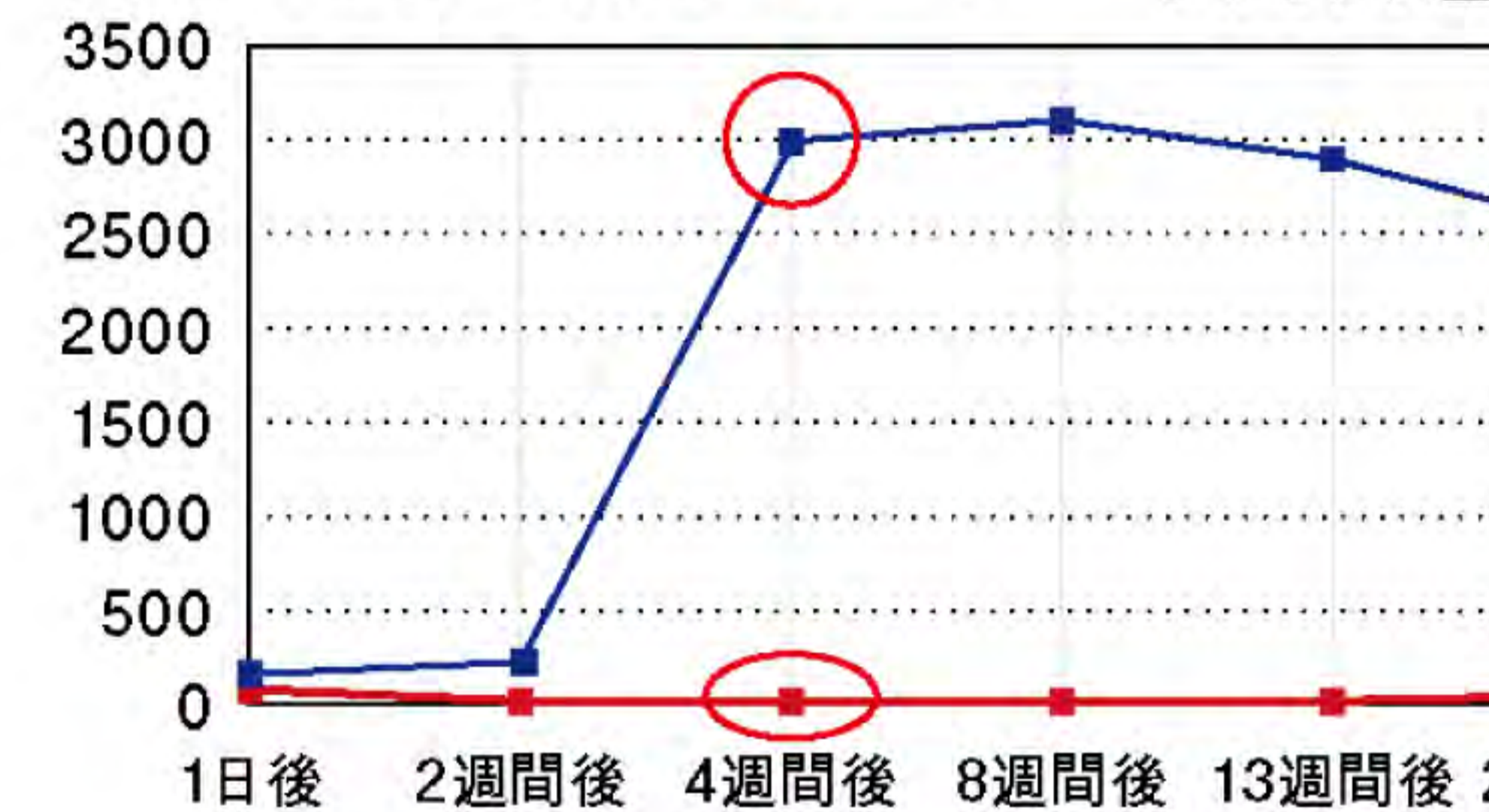
この**酸化還元反応を繰り返すことで長期間効果が持続**します。

持続性試験

壁面試験 測定機器:

洗浄後の壁面にレドックス抗菌・抗ウイルスを施工。
乾燥: 塗布後0.5h~3h ※気温湿度に依
効果: 施工後24h後より継続 **3年間**~
※使用状況、環境によって異なります。

レドックスの性能持続性データ レドックス塗



施工

用途 壁・天井・窓ガラス・カーテン・什器・AV機器類・家具の持続型抗菌・抗ウイルス・消臭

※塗布量が多いと基材の変色の原因となります。無垢木材などのしみ込みやすい基材につきましては特にご注意ください。

1 下地洗浄作業を行う

ホコリや油分を除去し、基材を清浄な状態にします。



2 レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コートを塗布する

下地処理後にレドックスポーイ(レドックス専用塗装機)を使用し、対象基材から約50cm程離して吹き付けます(1㎡当たり10~15ml程度)。

縦方向から横方向へと格子状に噴霧し、塗り残しがないように施工していきます。

上方向から下方向へ噴霧すると垂れスジが出来る場合があります。基材に対して下から上へと噴霧するようにしてください。極微細な飛沫を塗布するため、塗布量が必要以上に多くならないように塗布してください。水滴などが滴っている場合はマイクロファイバー等で拭きあげてください。

詳しくは
コチラ



※塗布量が多いと基材の変色の原因となります。

その空間に安心を。



消臭

悪臭の原因である有害物質や細菌を、酸化により分解！

レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コートは悪臭及びシックハウス症候群の原因であるアンモニア・酢酸・ホルムアルデヒドの成分を**95%以上減少**！

光を必要としないので、屋内でも効果を発揮。空気がある環境で、酸化還元反応を繰り返して長期間効果が持続します。

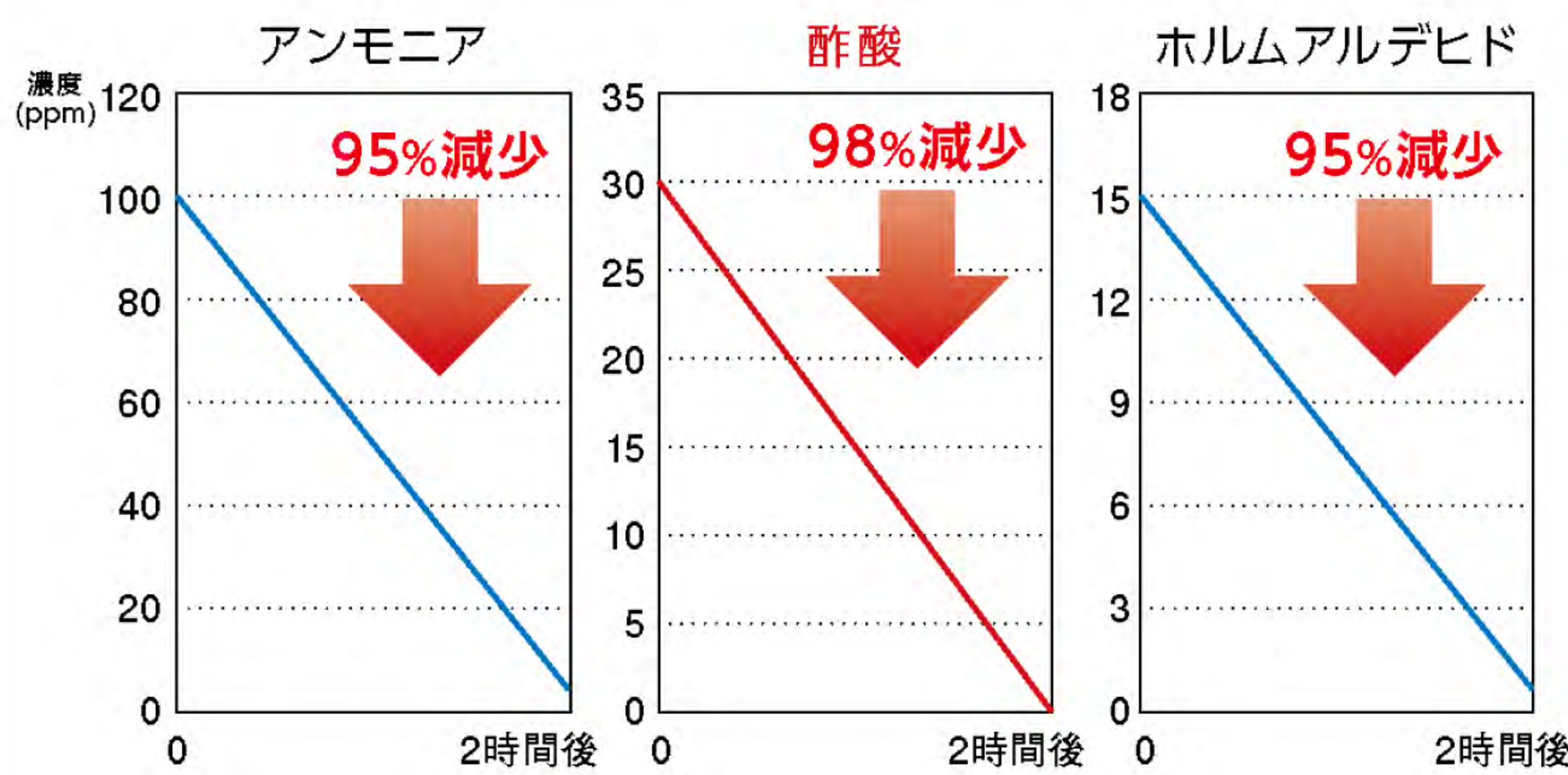
消臭性試験

試験機関：一般財団法人 ポーケン品質評価機構

消臭性試験方法：(一社)繊維評価技術協議会
SEK繊維製品認証基準 準用
21.消臭性試験【検知管法】

試験試料：検知管法 1ml 測定時間：2時間後

臭気成分	アンモニア	酢酸	ホルムアルデヒド
初発濃度	100ppm	30ppm	15ppm
2時間後濃度	5ppm	0.6ppm	0.75ppm
減少率	95%	98%	95%



95%以上減少！

こんな場所にも
レドックス！

光が届きにくい密閉空間や夜間でも、24時間効果が持続。衛生管理が必要な病院や飲食店、公共施設でも安全にご使用いただけます。

劇場・映画館



病院・ホテル



公共交通機関



リフォーム



還元反応を
続！

ルミテスターSmart
ルス・消臭コート

5年間

6週間後 39週間後 52週間後
(12ヵ月後)

可視化したい場合はルミテスターを使用

※ルミテスターで測定表示される数値は、測定箇所や環境によって大きく異なる場合がございます。

測定機器
ルミテスターSmart



施工部位のATPふき取り検査(A3法)を行う

キッコーマンバイオケミファ(株)製
ルミテスターSmartを使用。



※数値=菌の数ではありませんのでご注意ください。

完了チェック、ATPふき取り検査(A3法)を行う
施工した部位のATPふき取り検査(A3法)を行います。
レドックス抗菌・抗ウイルス・消臭コートは施工完了から数時間後に効果が徐々に発揮されます。施工後のATPふき取り検査(A3法)を行う場合は、施工後24時間以上経過後、行うようにしてください。